第4次野辺地町行財政改革大綱　実施計画

改革事項	(1)事務事業の見直し		ウ　許認可等の事務手続きの簡素化と行政手続きの明確化	
改革項目	個人番号カード利用による住民サービスの向上		担当部署	総務課
年度計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
年度目標	システム等の確実な構築	情報連携を確実に実施する	個人番号カード利用による独自サービスの検討	個人番号カード利用による独自サービスの検討
実施概要	システムに係る情報提供NWSとの総合テスト、業務システムの追加改修、特定個人情報保護委員会への独自利用事務の届出、添付書類に係る例規整備等	H29年7月から国や地方公共団体の間で始まる情報連携を確実に実施する。	個人番号カードを利用することにより、印鑑登録証、コンビニ交付等の独自サービスを検討する。	個人番号カードを利用することにより、印鑑登録証、コンビニ交付等の独自サービスを検討する。

年度計画	平成28年度
年度目標	システム等の確実な構築
実施状況及び今後の進行計画	○情報連携に係るシステム改修や総合運用テストの実施及び特定個人情報の取扱いに関する規程等の整備並びに個人情報保護委員会への独自利用事務に係る情報連携の届出を滞りなく行った。 ①　システム改修…住民基本台帳システム、地方税務システム、団体内統合宛名システム、障害者福祉システム、児童福祉システム、国民健康保険システム、介護保険システム、健康管理システム。 ②　総合運用テスト…平成29年1月16日～1月27日に平内町と実施。 ③　特定個人情報の取扱いに関する規程等 …野辺地町特定個人情報等の安全管理に関する基本方針、野辺地町特定個人情報等の取扱いに関する管理規程、野辺地町特定個人情報等取扱マニュアル。 ④　独自利用事務の届出…乳幼児医療費給付事務、子ども医療費給付事務、すこやか医療費給付事務、重度心身障害者等医療費助成事務。
問題点等	平成29年7月からの情報連携運用開始に向け、引き続きシステム改修や総合運用テストを実施する必要がある。

年度計画	平成29年度
年度目標	情報連携を確実に実施する
実施状況及び今後の進行計画	○国・その他機関との総合運用テストを実施し、特定個人情報の授受が正常に行われることの確認や、情報照会の際の端末操作手順について確認した。また、当町において保有している特定個人情報を中間サーバーに副本登録する必要があるが、その登録方法についても各担当へ説明し、7月に運用開始となる情報連携の円滑な実施を図った。 ①　総合運用テスト…平成29年5月22日～5月26日に職業安定局等と実施。 ②　副本登録…住民記録、国民健康保険、介護保険、児童手当、住民税、障がい者等、健康管理
問題点等	情報連携について、適切な運用が図られているか、定期的な点検や研修を実施する必要がある。

年度計画	平成30年度
年度目標	個人番号カード利用による独自サービスの検討
実施状況及び今後の進行計画	個人番号カード利用による独自サービスに関する検討結果については、「第4次野辺地町行財政改革大綱　実施計画（個人番号カード利用による住民サービスの向上）報告書」にまとめた。 報告書では、コンビニ交付サービスの導入については、利用の見込みが少なく、町民の利便性の向上や窓口業務の負担軽減は期待できない、また、費用対効果も低いとし、導入に当たっては、個人番号カードの利用範囲の拡大や、その他の独自サービスにより個人番号カードの普及が図られることが必要としている。
問題点等	今後、個人番号カードの利用範囲は拡大していくことから、カードの普及を図るとともに、引き続き利活用について検討していく必要がある。